

主な取組

- 4月：行政事業レビュー推進チーム（官房長、政立審、会計課長、各部局総括課長で構成。）の下に、**タスクフォース**（企画評価・政策プロモーション室長、会計課補佐、及び各部局総括補佐で構成。）を**設置し、個別のレビューシートの品質管理**を実施。
- 4～6月：各総括補佐は、**所属部局以外**の部局のシートを確認。
（例：自然環境局の総括補佐が水・大気環境局のシートを担当。）
⇒クロスチェックにより、自らの部局の類似事業のロジックの参考とすることができることなどがメリット。
それぞれ**優良事例 2 件、最も改善が必要なもの 2 件**を選定。
- 6～8月：会計課及びプロモーション室にて、優良事例や要改善案件について、「優良な点、改善が必要な点」、「品質管理プロセスで明らかになった課題等」をまとめ、**各部局にフィードバック**し、各部局はそれに基づき、レビューシートをブラッシュアップ。
- 9月：優良事例について**官房長表彰**を実施。

優良事例・最も改善が必要なもの（例）

- 優良事例
 - アウトカムについて、事業の効果を的確に測定できるような指標が設定されている。
- 最も改善が必要なもの
 - ×アウトプットとアウトカムの混同。（環境省が直接コントロール可能な指標をアウトカムとして設定。）
 - ×アウトプットとアウトカム間のロジックにギャップがある。

具体的な改善例

- タスクフォースにおいてアウトプット、アウトカムの設定の適否やロジックのつながりを確認し、作成部局に指摘。
- 作成部局は、タスクフォースの指摘を踏まえ、レビューシートを修正。

当初案	タスクフォースからの指摘	改善後
化学物質のデータ活用に関する事業		
<p>短期アウトカムの成果目標 「事業者ごとの届出データを分かりやすく、公表し、自主的な管理を可視化する。」</p> <p>(長期アウトカムの成果指標の設定根拠の未記載)</p>	<p>アウトカムは環境省の直接のコントロール下ではない成果目標を記載すべき。</p> <p>長期アウトカムの成果指標の設定根拠を記載できないか。</p>	<p>短期アウトカムの成果目標 「環境リスクの懸念のある化学物質の排出実態に関する認知が促進される。」</p> <p>過去5年間の減少率が維持されることを目標として値を設定したことを明記。</p>
環境金融の普及に関する事業		
<p>アウトプットの活動目標 「環境金融への関心や取組を行う金融機関数の増加」</p>	<p>アウトプットに記載の内容はアウトカム。環境省がコントロールできる内容をアウトプットとして記載すべき。</p>	<p>アウトプットの活動目標 「環境金融の普及・啓発を目的としたシンポジウム等の開催」</p> <p>短期アウトカム 「環境金融への関心や取組を行う金融機関数の増加」</p>